



# 石海小学校だより

校訓 「あかるく なかよく 力いっぱい」

太子町立石海小学校  
NO.11 令和5年3月17日  
発行者：校長 久保田 昌之

## 新たな目標に向けての旅たち

季節の移り変わりとともに、子どもたちは1年間の学びを終え、新しい学年・学校へと歩みを進める時期が近づいてきました。今年度を振り返ると、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも教育活動が進み、子どもたちが活躍する姿をたくさん見ることができました。今後、それぞれの新しい場所で、自分を磨き上げ、さらに成長してくれることを願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

## 授業参観&学級懇談

2月21日(火)に、本年度最後の授業参観を行いましたところ、お忙しい中、多数ご来校いただきありがとうございました。一人一人の成長した姿をご覧いただくために、いつもの授業形態ではなく全員発表形式の授業が多かったです。



子どもたちに聞くと、「おうちの人にほめてもらったよ。」と笑顔で教えてくれました。また、3年ぶりに学級懇談を実施することができました。初めて経験された保護者の方もおられ、学校の様子だけでなく、子育ての悩み等を共有できる良い機会となりました。

## ありがとうプロジェクト2022

6年生は、これまでお世話になった数多くの方々に「ありがとう」の感謝の気持ちを伝える方法を4グループに分かれて考え、以下の活動をしています。



地域の皆様へ感謝のメッセージ

① 先生	バナナおに(先生と鬼ごっこ)・プレゼント
② 学校・同級生	校内清掃・騎馬戦大会(運動会でできなかったから)
③ 在校生	在校生へのメッセージ・歌・プレゼント
④ 地域	地域の掃除・見守り隊の方へ手紙・110番の家の方へカレンダー

## 日本の伝統文化にふれる～手話狂言「附子」



附子を見る太郎冠者と次郎冠者



子どもたちも手話で参加

3月2日(木)に、文化庁-文化芸術による子供育成推進事業-手話狂言「附子」の公演が行われました。聞こえる人も聞こえない人も楽しめるように「日本ろう者劇団」の皆様が、手話を交えて実演されました。

4～6年生は、事前にワークショップで鑑賞指導を受けていましたが、3年生以下の児童は、昔の言葉に少しとまどっていました。しかし、実演しながらわかりやすく説明してもらったので、狂言のおもしろさを味わうことができました。一流の舞台芸術を鑑賞し、日本の伝統文化にふれるすばらしい機会となりました。

## 思い出に残る「6年生を送る会」

3月15日(水)に、5年生が中心となって、「6年生を送る会」を行いました。今までお世話になった6年生へ感謝とエールの気



持ちをこめて、在校生が「劇」「替え歌」「楽器演奏」「クイズ」等の出し物を披露しました。最後に6年生が「劇」を披露し、手作りの「雑巾」をプレゼントしてくれました。温かな雰囲気の中、楽しさと寂しさが入り混じった思い出深い感動の日となりました。

### \*\*\*\*\* 教室の窓 \*\*\*\*\*

卒業証書授与式に向けて、6年生が日々練習に励んでいます。立派な態度で自分たちの成長を表現していると感じました。この3年間、新型コロナウイルスの感染拡大によって、さまざまな我慢を強いられてきた93人。この1年少しずつできることが増えてくる中で、しっかりと石海小学校のリーダーとしての役割を果たしてくれました。その姿を見てきた5年生以下の後輩たちは、必ずよき伝統を受け継いでくれると思います。3月23日には、お家の方々にかっこいいみんなの姿を見せてくださいね。卒業おめでとう。そして、頼んだよ、在校生のみんな。(文責：教頭 長谷川 大輔)